

平成 29 年度 第 1 回佐賀労働局公共調達監視委員会の審議概要

「公共調達監視委員会審議対象一覧」及び「審査調書」をもとに、事案ごとに事務局から概要を説明し、その後委員から意見や質問等を受け審議を行った。

委員からの意見及び質問については、次のとおりである。

【審査調書 整理番号 3（入札）】

「平成 29 年度地域若者サポートステーション事業委託」

（委員）提案書に係る技術審査委員会採点表において、ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価は技術審査の対象とはならないのか。

（担当）必須採点項目ではなく、付加要素となる。

（委員）予定価格が昨年度より 1 千万円ほど上乘せになっているのは何故か。

（担当）昨年度は佐賀地区と武雄地区の事業を別々に調達したが、今年度は両地区の事業を 1 つにまとめて調達を行ったことによる。

（委員）本事業による就職の状況は全国的に見てどうか。

（担当）利用者に対する就職者の割合は、全国平均に近い状況である。

（委員）再度入札は、不調となった 1 回目の入札と同じ日に行ったのか。

（担当）応札者に検討時間を与えた上で、同じ日に行った。

【審査調書 整理番号 4（入札）】

「介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業委託」

（委員）予定価格が昨年度の予定価格の約 2 倍になっているが何故か。

また、落札率が低く感じられるが、事業運営に支障等はないか。

（担当）ネットワーク構築事業が今年度新たに追加されたことで、予定価格が昨年度より増となった。

また、受託者は、既に事業者とのネットワークを構築しており、今回の額になったと思われるが、事業運営の信頼性は確保できていると考える。

（委員）受託者は、全国的に本事業を受託しているか。

（担当）ほぼ全国的に当局と同じ事業者が受託している。受託者は、介護分野の雇用管理に係るノウハウを持ち、応札額だけでなく、事業運営面も含めて実績がある。

（委員）受託者の支部が佐賀にあるが、契約は東京の本部と行うのか。

（担当）受託者の契約権限が本部にあり、事業の展開は支部を拠点として実施している。

（委員）本部が東京にあるが、競争参加資格は九州・沖縄地区となっているのは何故か。

（担当）競争参加資格は、事業者が申請を行う際に、どの地域（複数可）での参加資格を

得たいかを選択できるものである。

【審査調書 整理番号7（随契）】

「平成29年度医療労務管理支援事業委託」

（委員）「医療勤務環境改善マネジメントシステム」は標準化されていて、例えば国が認証を与え、最終的に当該システムを導入することが事業の目的か。

（担当）認証を与えたり、システム導入を目的とするものではない。

（委員）当該システムを導入しようとする事業所があれば、受託者が相談にのるという事業か。

（担当）そのとおりである。

（委員）委託費の内訳はほぼ人件費だが、成果はどうか。

（担当）現時点で、周知広報668件、相談151日、個別支援10回といった実施状況である。

（委員）本事業は受託者しかできないのか。

（担当）事業内容から毎年契約先を変更すると不都合があり、特命随意契約となる。

（委員）医療現場での過労死問題等を踏まえ、受託者に注文をつけたりすることはあるか。

（担当）医療現場の全体を把握している受託者には、労務管理改善に向けた検討の場面で積極的な役割を果たしていただきたいと考えている。

【審査調書 整理番号8（随契）】

「平成29年度障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）委託」

（委員）落札率が100%であるが、予定価格を示しているのか。

（担当）予定価格は示していないが、予算の上限額を示している。

（委員）内訳もほぼ同じような数字になっているがどうか。

（担当）前年度の実績を見て予定価格を策定するので、似たような数字になったと思われる。

（委員）本事業はいつ頃から実施しているか。

（担当）平成23年度から実施している。

（委員）事業の成果はどうか。

（担当）外部委員等による評価委員会での評価を実施している。受託者の事業実施地域は広いが、障害者の就労支援等で一定の成果が上がっているものと認識している。

（委員）佐賀県から障害者就業・生活支援センター事業実施の指定を受けた法人は受託者だけか。

（担当）佐賀県内には受託者のほかに3法人が指定されており、県内を4地区に分け事業を委託している。

【審査調書 整理番号1（入札）】

「平成29年度リコー製複写機・複合機の保守業務委託（単価契約）」

（委員）毎年同じような状況だが、他に業者があれば価格も下がると思うがどうか。

（担当）入札参加について広く声掛けしているが、特約代理店しか対応できない等の事情で、他業者の参加が見込めない実態がある。

（委員）昨年度も今年度も落札率100%だが何故か。

（担当）前年度の契約実例（単価）と仕様書で示す複写機等の使用状況を基に予定価格の積算を行うため、同一業者であれば落札率100%となり得るものと思われる。

（委員）他社製機器の保守業務を行う業者が入札に参加したとしても、違うコストがかかり競争にはならないということか。

（担当）そうなると思われる。

【審査調書 整理番号2（入札）】

「平成29年度第1回備品・消耗品の購入」

（委員）同様の調達に年に数回あると思うが、例えば、次回の調達はどの業者が落札するといったことが事前にわかることがあるか。

（担当）もし、そのような実態を把握した場合は、談合となるため入札を中止する。

（委員）入札を行うにあたり、仕様書の別表（調達品目、規格、参考品等を掲載）は事前に示していると思うが、参考品で応札されることが多いか。

（担当）参考品での応札が比較的多い。業者によっては参考品を取り扱っていない場合があり、同等品で応札する際は事前に当該同等品を示してもらい、仕様・規格を満たすかどうか確認している。

【審査調書 整理番号5（入札）】

「平成29年度佐賀労働局定期健康診断及び特殊健康診断業務委託（単価契約）（再度公告）」

（委員）入札は3回行ったのか。

（担当）5月31日の公告で入札を3回行うも全て不調、6月15日に再度公告を行い6月26日の入札1回目で落札したので、計4回行ったことになる。

（委員）その原因としてはどういったことが考えられるか。

（担当）受診予定者数と過去の契約実例を踏まえた健診項目毎の単価で予定価格を積算していたが、これまでの当局の健診受診率が低い実態を理由に、応札者が単価を引上げて見積もったことが、不調が続いた要因と思われる。

そのため、他局の契約実例や他業者の参考見積等を踏まえ予定価格を見直し、再度公告を行った結果、折り合いがついたという経緯である。

(委員) 今年度の受診実績はどうか。

(担当) 呼びかけを行った結果、受診率は昨年度より上がっている。

(委員) 1者応札だが、他に入札に参加するところはないか。

(担当) 他(県外含む)の事業者にも声掛けはしているが参加に至らない。以前は県外事業者が参加したこともある。

当局管内の監督署とハローワークの健診対応も必要となるため、健診実施に係るコスト・履行体制確保等で難しい面があるものと思われる。

【審査調書 整理番号6 (随契)】

「平成29年度佐賀公共職業安定所来客者用駐車場賃貸借」

(委員) 価格交渉はどのようにして行うのか。

(担当) 近隣の駐車場の利用料金や路線価を参考として毎年行っている。なお、佐賀市中心部の地価は上昇しており、今後の価格交渉は難航する可能性がある。

(委員) 同時に120台が利用できるという契約内容か。

(担当) そのとおりである。台数は管理しており、今年度は昨年度より駐車場利用者が増えている。

(委員) ハローワークの利用者が増えているということか。

(担当) 他の駐車場の契約を解除したこと、求人事業所の利用が増えていることが増加の要因として考えられる。

(委員) 長時間の駐車も可能か。

(担当) ハローワークの利用に限った上で、無料時間の制限を設けている。